

2021年12月期 第1四半期 決算説明資料

メディカル・データ・ビジョン株式会社
(証券コード：3902)

2021年5月12日

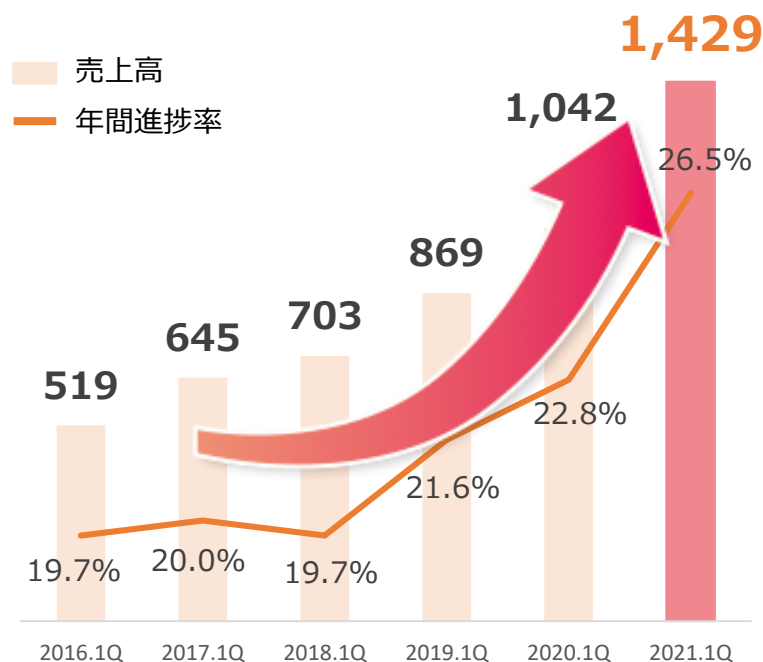
2021年12月期 第1四半期 決算概要

保守的な業績予想に対して、売上・利益ともに高成長 年間進捗率も順調

売上高 **1,429** 百万円

前年同期比 +37.1%

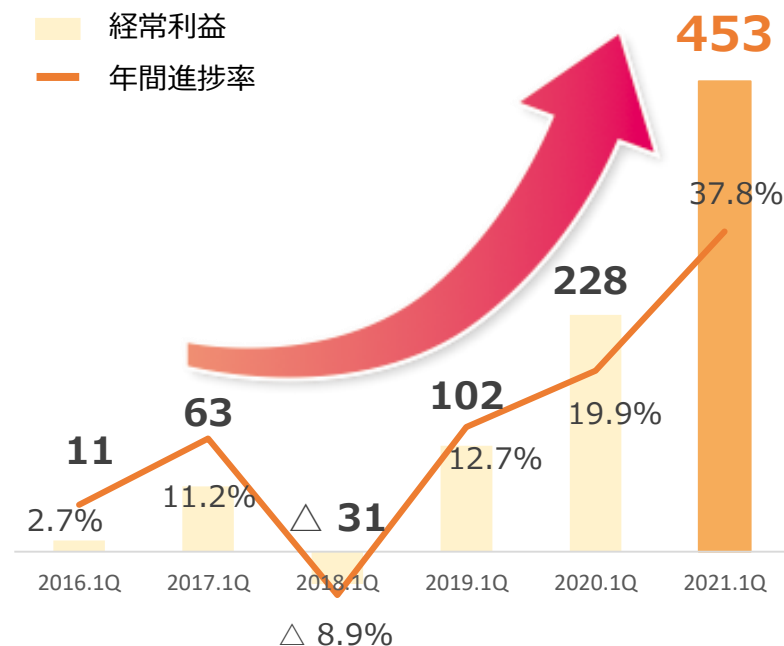
年間進捗率 26.5%



経常利益 **453** 百万円

前年同期比 +98.5%

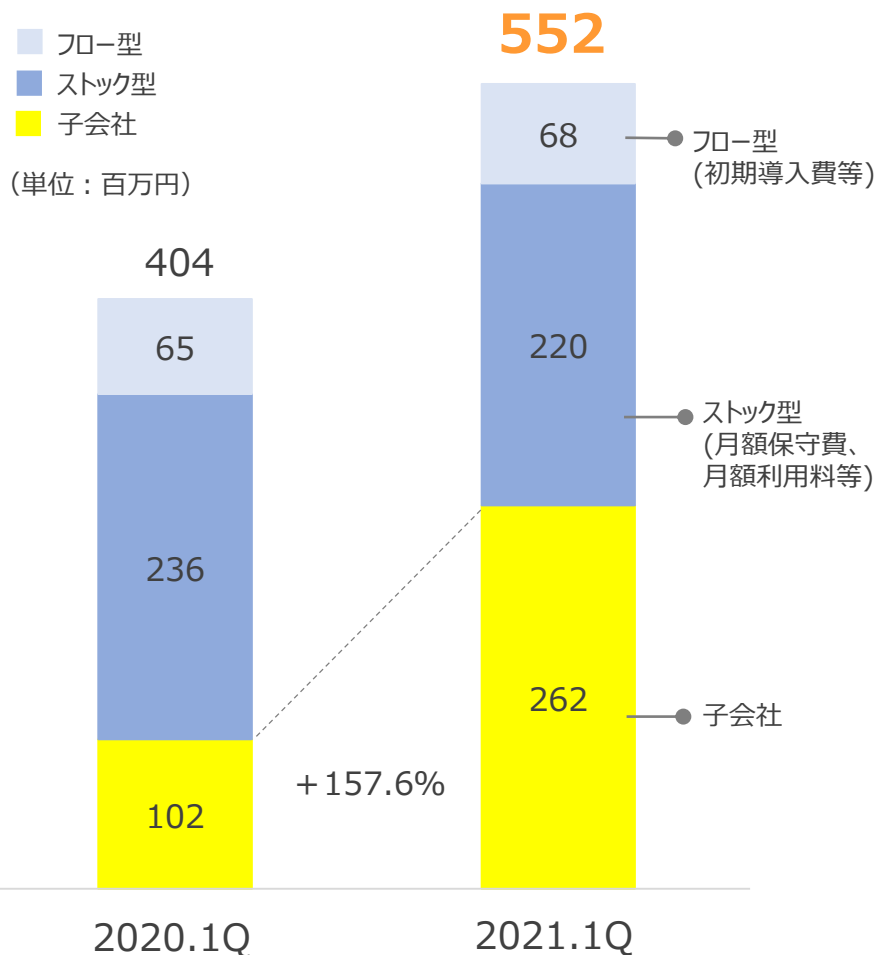
年間進捗率 37.8%



2021年12月期 第1四半期 業績

単位：百万円	2020年 1Q	2021年 1Q	前年同期比	2021年度 見通し	進捗率
売上高	1,042	1,429	+37.1%	5,400	26.5%
営業利益	229	454	+98.4%	1,199	37.9%
経常利益	228	453	+98.5%	1,200	37.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	151	309	+103.7%	800	38.7%
営業利益率	22.0%	31.8%	+9.8P	22.2%	—
経常利益率	21.9%	31.7%	+9.8P	22.2%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益率	14.6%	21.7%	+7.1P	14.8%	—

子会社の成長、新規連結効果により業績伸長



● 子会社 (Doctorbook、システム ビー・アルファほか)

・Doctorbook

歯科医向けオンラインサービスが引き続き好調のなか、医科向け事業も着実に業績伸ばす

・システム ビー・アルファ

新規連結効果による業績貢献

● 医療機関向けサービス (フロー型)

病院への営業環境は状況変わらず

<売上構成について>

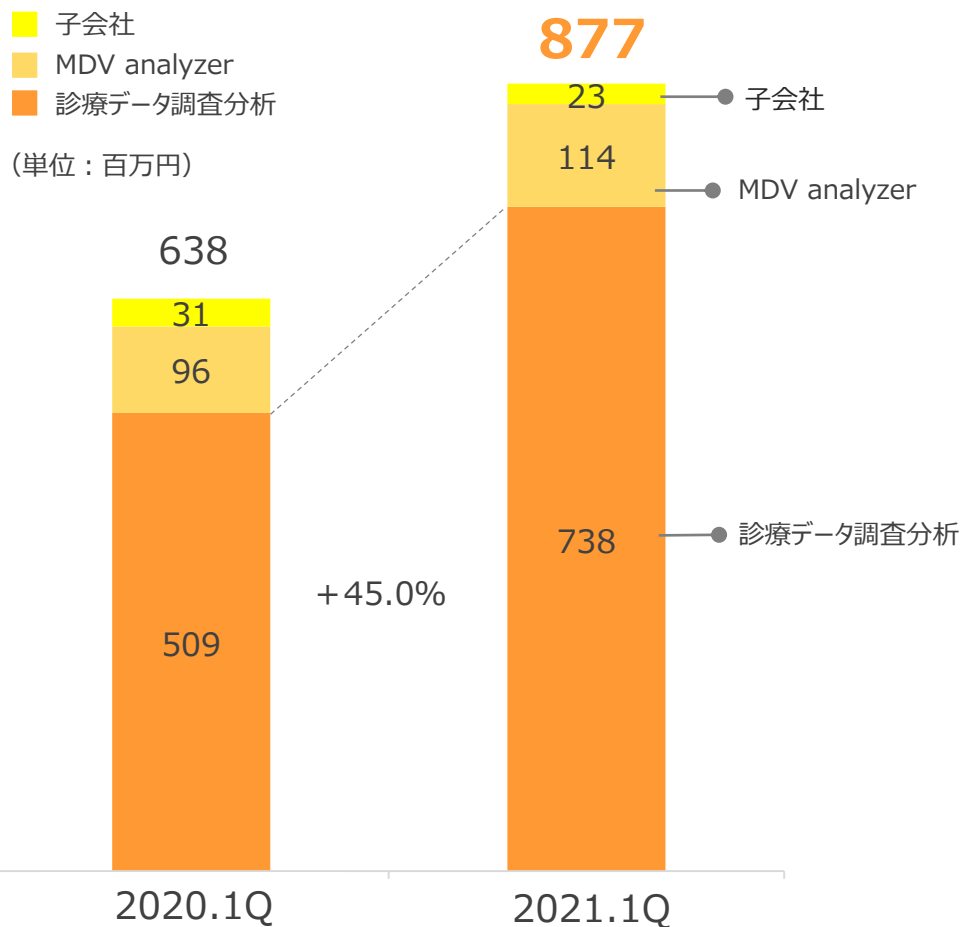
・フロー型

EVE、Medical Code、CADA-BOXなどの初期導入費用等

・ストック型

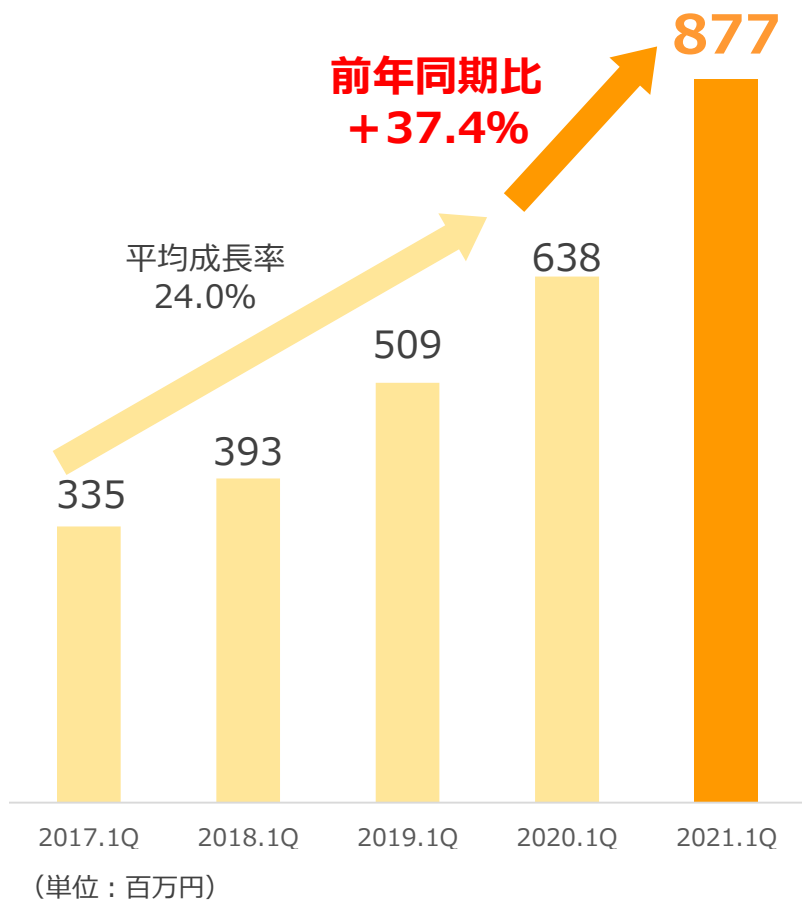
EVE、Medical Code、CADA-BOX、カンゴッチ+などの月額保守料、月額利用料等

圧倒的な量と質の大規模診療データベースにより成長加速



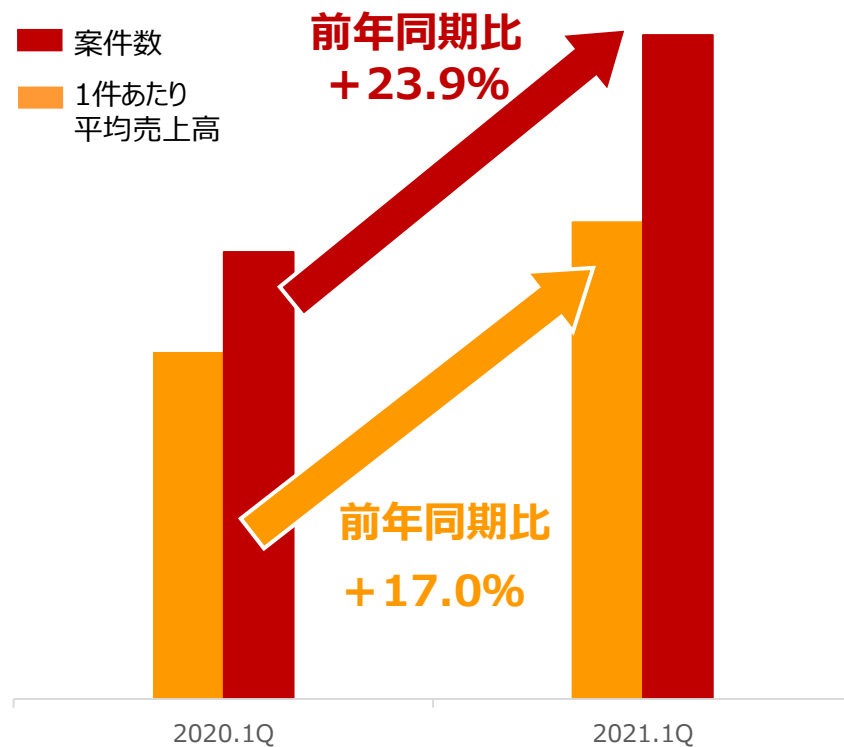
- 診療データ調査分析
DPCデータと健保データの組み合わせにより付加価値を創出し、ニーズが拡大

データ利活用サービス 売上推移



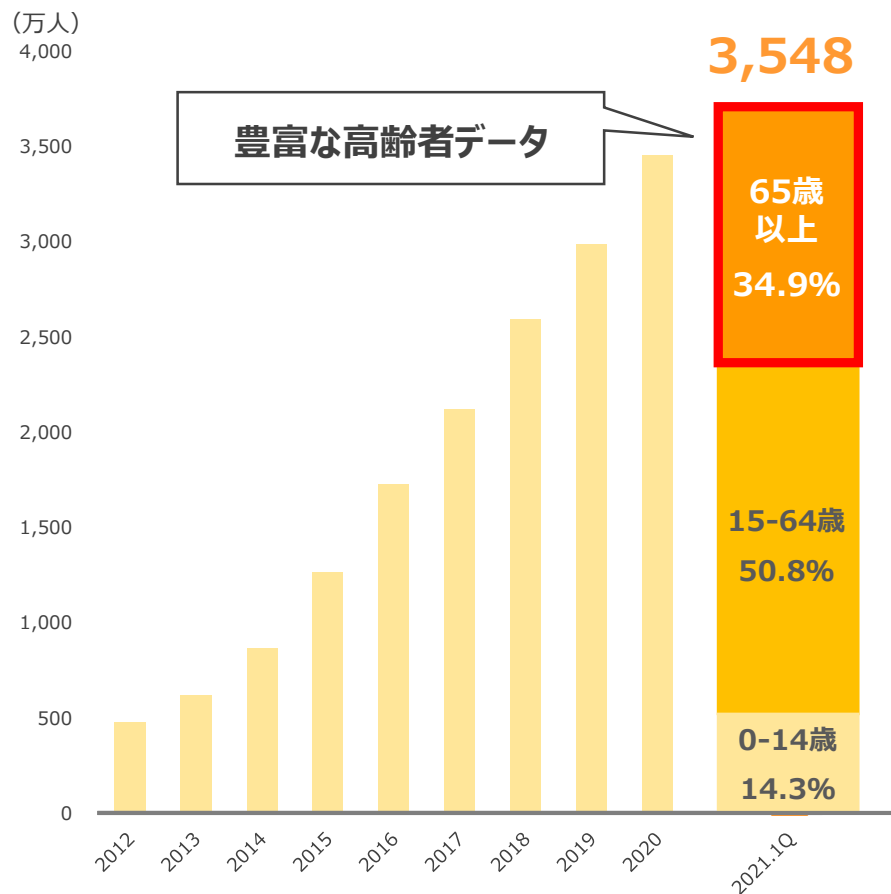
診療データ調査分析 前年同期比較

案件数 / 1件あたり平均売上高



圧倒的な地位を確立

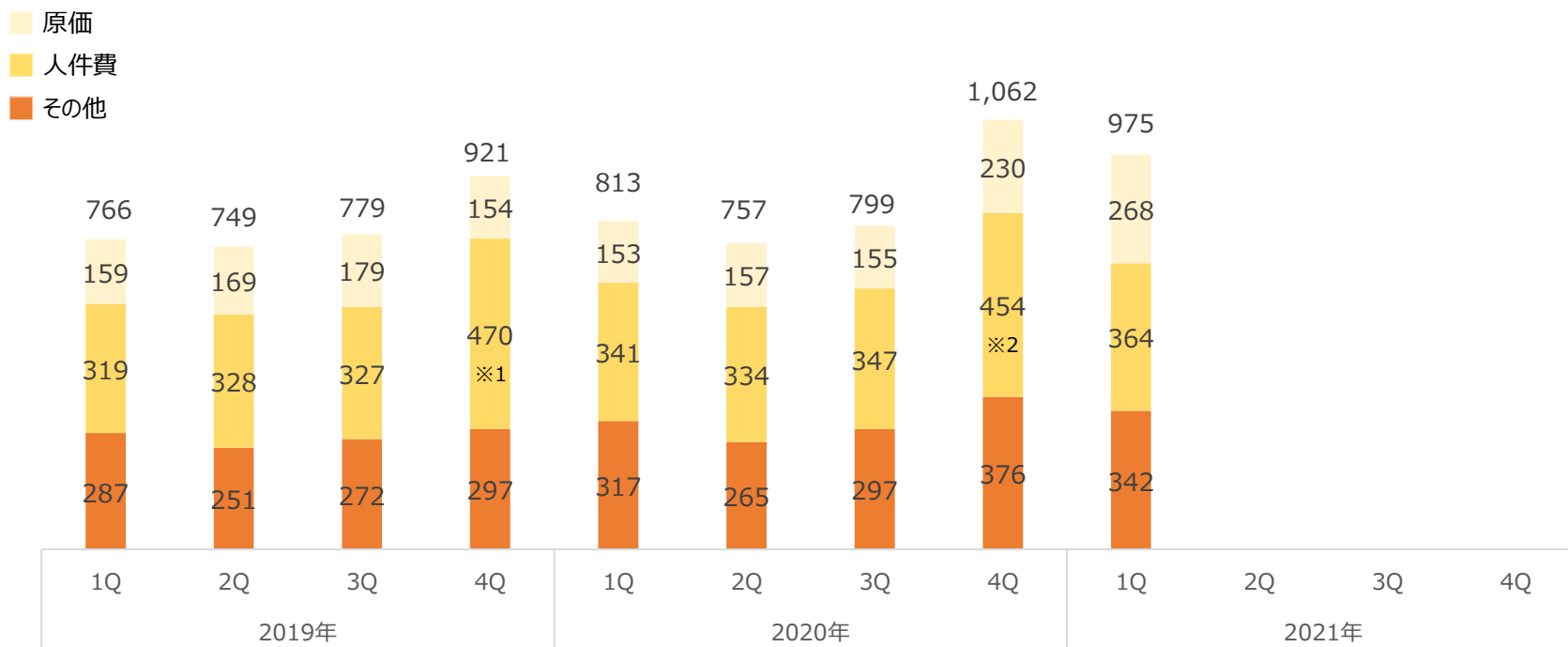
- ① 圧倒的な患者数
- ② 情報の豊富さ（急性期疾患／がんのステージ情報など）
- ③ 分析の拡張性
- ④ DPCデータ×健保データでの価値創出



2021年12月期 第1四半期 決算概要_コスト分析

単位：百万円

	2020.1Q	2021.1Q	増減額	
原価	153	268	+114	・システム ビー・アルファ新規連結による増加 ・売上原価率 14.8%→18.8% +4.0P
人件費	341	364	+22	
その他	317	342	+24	システム ビー・アルファ新規連結による増加
合計	813	975	+161	新サービスに伴う研究開発費



※1 決算賞与 134百万円

※2 決算賞与 103百万円

PHRシステム「カルテコ」

診療レポート

○ 外科

症状リスト
何の症状でお困りになって受診されましたか？

- 痛が強い
- 増が強い
- 足音が無い

傷病名

- 左乳癌

検査結果

検査結果を見る

診療中に使われた薬

- デキサメタゾン注射液6.6mg 2mL
- 疼痛薬「ロキソニン」50mg
- 下投サキセル高濃液180mg/4mL「ニプロ」
- 下投サキセル高濃液120mg/3mL「ニプロ」
- 生理食塩液「ヒカリ」250mL

処置・手術

- イントロカテーテル挿入 18G-24G1日1回
- 無菌換薬処置11(その他)1日1回

処方された薬
(後発品に切り替えた場合などは、実際に受け取った薬と異なる場合があります。)

- デキサメタゾン錠4mg
- 「ロキソニン」錠120mg、1120mg 錠・粒巻、3139
- エキザルム錠
- 「ニプロ」錠18、錠剤筒中込付
- フルゼニド錠12mg
- 「ロキソニン」錠12mg
- マクセル錠250mg
- 「生理食塩液」1120mg、1120mg 粒巻、2139

健診・検診結果

2018/02/05 **D2** 要精密検査
2017/02/03 **D2** 要精密検査
2016/01/17 **D2** 要精密検査
2016/01/11 **C1** 要経過観察...
2015/01/25 **D2** 要精密検査

2018/02/05 健診分類名 **がん検診レディースプレミアムコー...**

実施機関 **メディカル・データ・ビジョン株式会社** 問診情報

総合判定 **D2**
要精密検査

検査項目 単位	基準値	2018/02/05	2017/02/03	2016/01/17	2016/01/11	2015/01/25	
総コレステロール mg/dl	140~199	351 立High	249 立High	184	189	180	グラフ
中性脂肪 mg/dl	30~149	85	74	63	39	47	グラフ
HDLコレステロール mg/dl	40~119	77.3	69.6	70.2	74.5	64.9	グラフ
LDLコレステロール mg/dl	60~119	257 立High	156 立High	99	97	103	グラフ
尿酸 mg/dl	2.1~7.0	4.1	4.2	4.6	4.0	3.4	グラフ
空腹時血糖 mg/dl	99以下	89	88	86	80	91	グラフ
HbA1c %	5.5以下	5.1	5.5		5.2	5.4	グラフ

検査画像

4171850

Fusion_MRPET_tra
C: W:

150 / 265

「カルテコ」の普及促進、BtoCサービスへの事業展開

PHRシステム「カルテコ」の積極的展開

【2021年4月26日 NEWS RELEASE】
「カルテコ」にワクチン接種記録機能の搭載

NEWS RELEASE

2021年4月26日
メディカル・データ・ビジョン株式会社 (東証一部 3902)



新型コロナ、ワクチン接種記録を自分で管理 PHR「カルテコ」に新機能、副反応の有無なども記録

人が一生の健康・医療情報を自ら管理できるPHR（パーソナルヘルスレコード）サービス「カルテコ」を提供するメディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎博之）は、「カルテコ」に新型コロナウイルスのワクチン接種したことや、副反応の有無などの記録を自分で残せる新機能を搭載したことをお知らせします。

ワクチン接種記録の登録は、①新型コロナワクチンを選択し接種日を選択②初回から2回目まで選択のメーカを選択③接種済証の写真を保存する接種後の副反応を記録④の手順です。接種後にどのような副反応があったか、または、またたかなかたなどを記録しておく、次回接種時に医師に対して接種の状況を伝え、自分で確認したりすることができます。

PHRサービス「カルテコ」は当社が開発し、2015年6月にサービスを開始。「カルテコ」は、患者が医療機関を受診した際の診療記録（傷病名、検査結果、診療中に使われた薬、処方された薬、処置・手術など）や検査画像、健診結果をWeb上に保管し、インターネット環境があれば、いつでもどこでも閲覧できるサービスです。現在、約3万人が利用しています。

「カルテコ」画面（イメージ）



■誰でもダウンロード可能

「カルテコ」はこれまで、「カルテコ」を導入している医療機関の患者や、その病院に付設する健診施設の健診受診者のみが利用できるサービスでしたが、アプリの公開により、それ以外の方も「カルテコ」に登録し、利用可能です。

※「カルテコ」はApp Store、Google Playでダウンロードできます。

「ワクチン接種記録画面」



スマートフォンアプリ



<本件に関する問い合わせ・取材のお申込み>

メディカル・データ・ビジョン株式会社 広報課 岩崎・赤羽・坂田
TEL：080-9023-1506（君塚携帯）
e-mail:pr@mndv.co.jp

<本件に関する問い合わせ>

メディカル・データ・ビジョン株式会社 広報課 岩崎・赤羽・坂田
TEL：080-9023-1506（君塚携帯）
e-mail:pr@mndv.co.jp

<本件に関する問い合わせ>

メディカル・データ・ビジョン株式会社 広報課 岩崎・赤羽・坂田
TEL：080-9023-1506（君塚携帯）
e-mail:pr@mndv.co.jp

【2021年4月27日 NEWS RELEASE】
社員の健康管理に「カルテコ」活用

NEWS RELEASE

2021年4月27日
メディカル・データ・ビジョン株式会社 (東証一部 3902)



社員健康管理にPHR「カルテコ」活用 健診データ手元に健康リテラシーを向上へ

人が一生の健康・医療情報を自ら管理できるPHR（パーソナルヘルスレコード）サービス「カルテコ」を提供するメディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎博之）は、社員が健康管理にPHRを活用するために、受診した健診施設で「カルテコ」を利用できるようにいたしました。

具体的には、医療法人社団シドダングクリニック（港区、理事長 草野敏臣）が運営する東京シドダングクリニック（同区六本木）と日本橋東町三井グループ シドダングクリニック（中央区日本橋）で健康診断を受診した社員が、スマートフォンやPCで「カルテコ」を通して健診結果をいつでもどこでも閲覧できるようになりました。

「カルテコ」は当社が開発し、2015年6月にサービスを開始。現在、全国の病院で稼働しています。患者さんは「カルテコ」を利用することで、自身の病状や治療内容を正しく理解し、納得して治療を受けやすくなり、旅行先や災害時などで具合が悪くなり、かかりつけ以外の医療機関を受診する際にも、自身の病状を医師に正しく伝えやすくなりました。現在、約3万人が利用しています。

■社員がデータに基づく健康目標を設定

当社は、「カルテコ」を利用している社員の有志で互いに健康目標を設定し、健康維持に努めることを応援しています。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で在宅勤務が常态化化する中、当社内では社員同士で体重や、体重と身長から算出される肥満度BMI（Body Mass Index）指数などを、一定の期間内に減少させるなどの共通目標を設定する取り組みが、自然発生的に起きています。

※「カルテコ」は、Appを公開しており、広く国民が「カルテコ」に登録し、利用することができます。また、「カルテコ」はApp Store、Google Playでダウンロード可能です。

「カルテコ」



スマートフォンアプリ



<本件に関する問い合わせ・取材のお申込み>

メディカル・データ・ビジョン株式会社 広報課 岩崎・赤羽・坂田
TEL：080-9023-1506（君塚携帯）
e-mail:pr@mndv.co.jp

【2021年4月28日 NEWS RELEASE】
PHRシステム「カルテコ」導入決定

NEWS RELEASE

2021年4月28日
メディカル・データ・ビジョン株式会社 (東証一部 3902)



東京墨田区の賛育会、PHRシステム「カルテコ」導入決定 健診情報からスタート、未病対策・療養生活の質向上へ

社会福祉法人賛育会（東京都墨田区）が運営する賛育会病院（院長：高本眞一）は、医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎博之）が開発・提供するPHR（パーソナルヘルスレコード）システム「カルテコ」を導入することを決定いたしました。この導入により、「カルテコ」は患者や健康診断の受診者が、自身の診療情報や健診情報を保管し、スマートフォンなどいつでも閲覧できるWEBサービスです。

賛育会のPHRサービスは、健診情報を閲覧可能にすることでスタートし、その後、閲覧対象を更に拡大していく計画です。健診結果を、スマホなどで簡単に確認できるようにすることで、受診者の医療・健康リテラシーを向上させることが期待されるほか、健診で何らかの異常や所見が認められた有見のみに、適切に受診勧奨をすることを通じて、高血圧や糖尿病など慢性疾患の重症化を予防していきます。



【高本院長コメント】

私は院長就任に当たり、「患者さんとともに生きる」という理念を掲げました。その中で、国が掲げているPHRを中心とした医療データ活用を先駆け、このたび導入する「カルテコ」でPHRを実現します。PHRは個人の健康・医療に関する情報を自分自身で生みだすことで管理・活用することで健康状態に合ったサービスの提供を受けることを目指すものです。PHRを積極的に活用すれば患者さんが医療に主体的に取り組むことができ、疾病の早期発見、療養生活の質向上につながり、ひいては生活の質(QOL)が向上することを期待しています。

＝高本院長 略歴＝

1947（昭和22）年生まれ。愛知県山崎市育ち。東大医学部名誉教授、外科医（専門は心臓血管外科）。三井記念病院院長など歴任。2014年4月から現職。著書は「患者さんに伝えたい医師の心本心」（新潮新書）など。

【社会福祉法人賛育会 賛育会病院の概要】

- 開業 : 1918年（大正7年）3月16日
- 院長 : 高本眞一
- 所在地 : 東京都墨田区太平3-20-2
- 病床数 : 199床
- 診療科 : 産婦人科、内科、小児科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、緩和ケア科、麻酔科
- 付属施設 : 健康管理クリニック 母子産健診室（仮称はしゅら）
- 関連施設 : 賛育会訪問看護ステーション

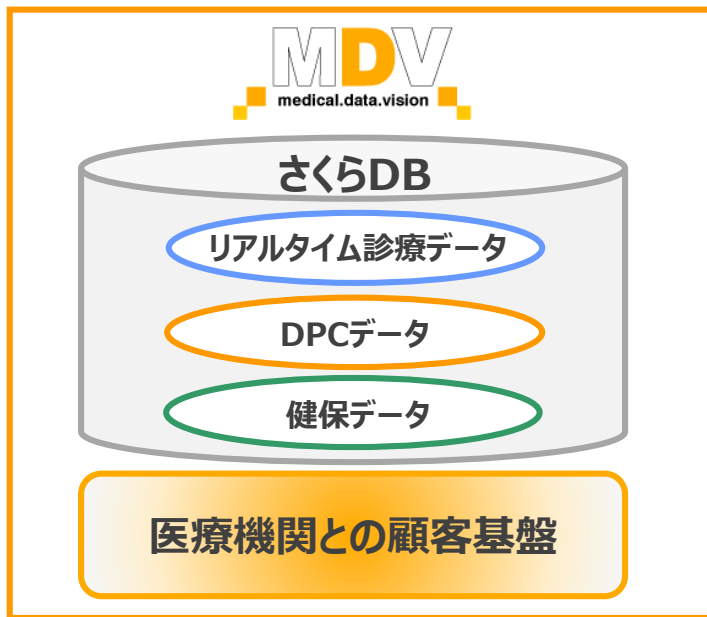
<本件に関する問い合わせ>

メディカル・データ・ビジョン株式会社 広報課 岩崎・赤羽・坂田
MAIL: pr@mndv.co.jp TEL: 080-9023-1506（君塚携帯）

PHRシステム「カルテコ」のリニューアルは4Qローンチに向けて進捗中

SBIグループとの連携

SBIグループと積極的な事業連携を推進中



- ・医療ビッグデータを活用した金融及びヘルスケア分野での新商品・サービスの開発
- ・地方経済及び地域医療の活性化に寄与する事業の推進
- ・医療・ヘルスケア事業領域におけるSBIホールディングス子会社及び同社グループ出資先企業等との連携強化

✓ SBI FinTech Solutionsとの業務提携 (2021.4.12リリース)

- ・医療機関とのネットワーク、金融ノウハウを活用した、医療機関向けのファクタリングサービス
- ・メディカル金融事業の拡大や新サービスの共同開発等

参考資料

さくらデータバンク（大規模診療データベース）活用事例

① 圧倒的な患者数であるがゆえの高いニーズ



例) 製造販売後DB調査 対象DB別件数

43製品（複数のDBを使用する場合はそれぞれの件数にカウント）

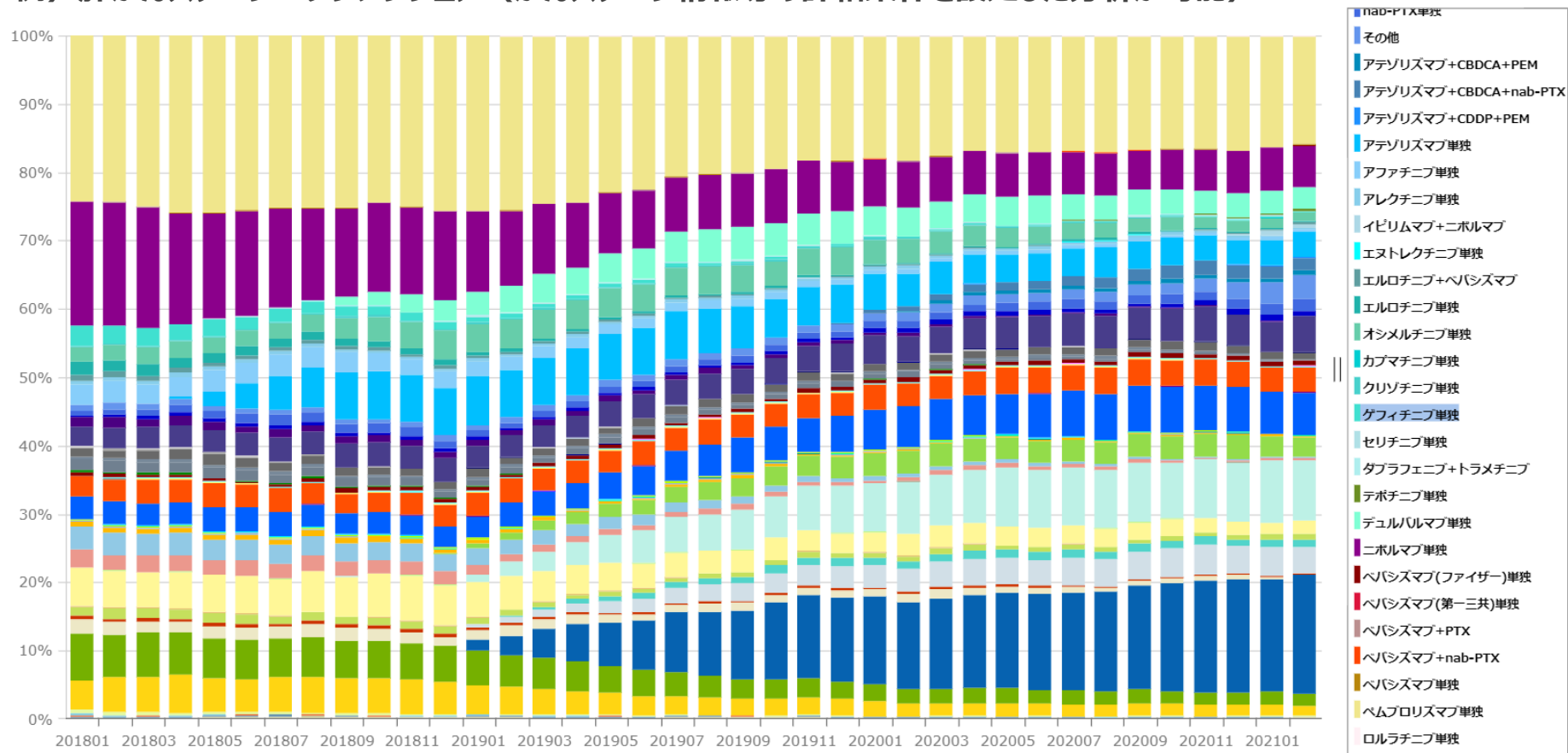
対象DB	件数
MDV	20
MID-NET	10
JMDC	3
その他	2
未定	13

(2021年3月31日現在)

PMDA 医療用医薬品 情報検索サイトより抜粋 <https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuSearch/>

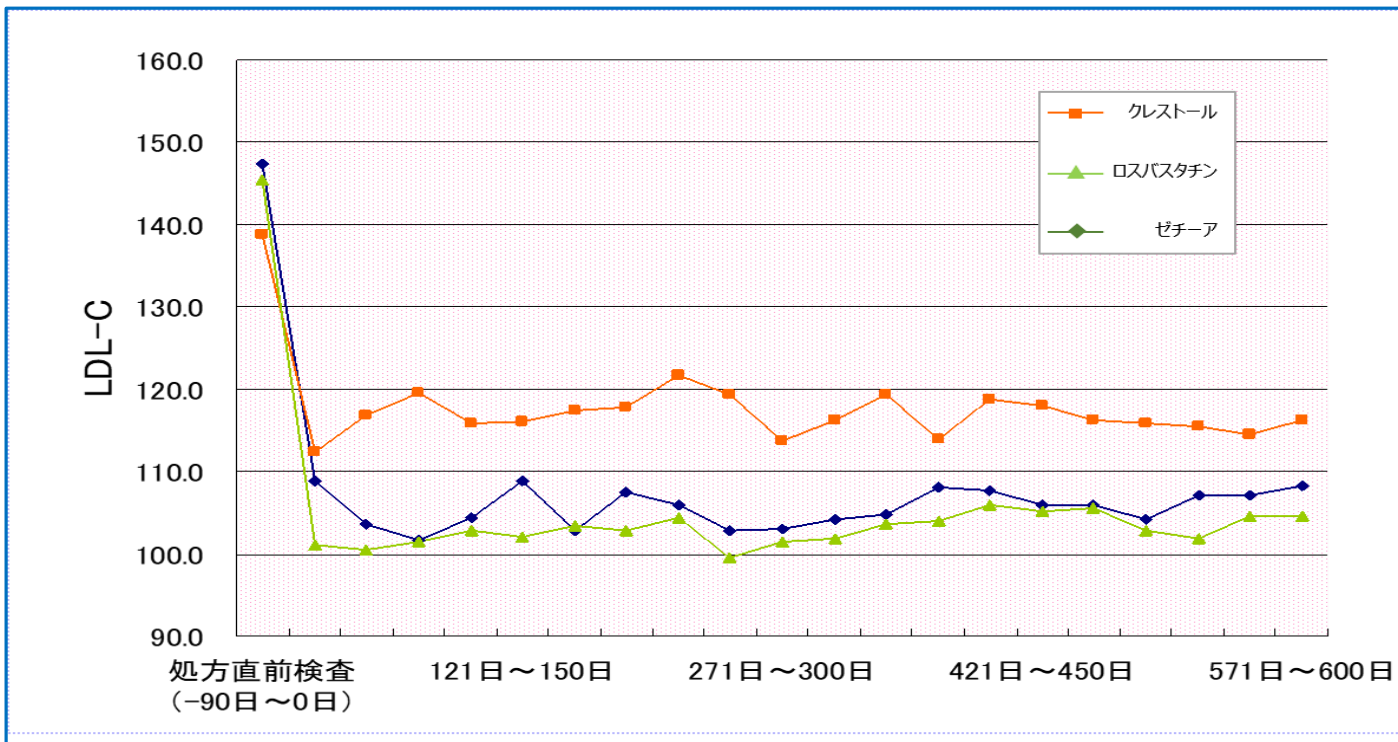
②急性期疾患、がんのステージ情報など、情報が豊富だからできるニーズへの対応

例) 肺癌ステージIVレジメンシェア（がんステージ情報等の詳細条件を設定した分析が可能）



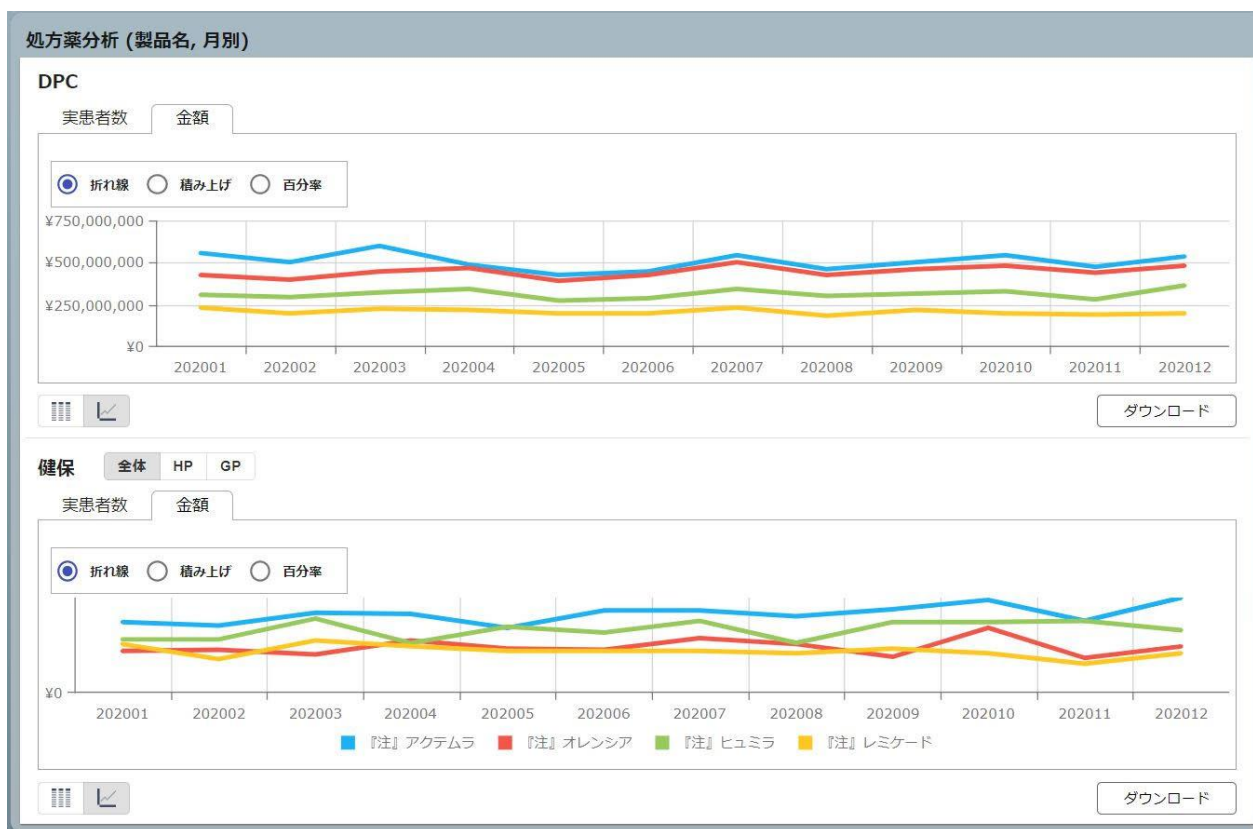
③分析の拡張性（検査データを組み合わせた分析）

例) 薬剤別治療効果比較（DPCデータ×検査データ）



④ DPCデータ×健保データでの価値創出

例) 関節リウマチ 主要薬剤の病院・健保別の処方金額推移



■ 2021年12月期第1四半期 補足資料

https://ssl4.eir-parts.net/doc/3902/ir_material_for_fiscal_ym/99578/00.pdf

■ IRに関するお問合せ

<https://www.mdv.co.jp/contactus/form.php?classification=7>

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。